

【参考資料】 東海第二原発 避難先市町村との協定締結及び避難計画策定状況

下段は人数

URL は市町村の避難計画書へのリンク

2018. 3.31 現在 r. 11

避難元	協定	計画	避難先（県内は県名略） 右の数字は受入れ数	備考
東海村	17-3	38,409	取手市 23,533、守谷市 5,118、つくばみらい市 9,758 http://bit.ly/2IAmylB	
日立市	17-8	18万	【福島県 17 市町村】福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、須賀川市、喜多方市、二本松市、田村市、伊達市、本宮町、桑折町、国見町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、三春町、小野町 避難先毎の人数は不明 http://bit.ly/2qcLRnf	避難計画：説明会で、市民から疑問、批判が続出し、「2017 年度中策定」を延期
那珂市	17-1	5.4万	筑西市、桜川市 避難先毎の人数は不明	
水戸市	16-8	10万	古河市、結城市、下妻市、常総市、つくば市、坂東市、八千代町、五霞町、境町	つくば市：4万人。 ・前市長時代に締結 ・担当者「水害で受け入れた約 1200 人以上は難しい」
	18-2	44,660	【群馬県 8 市町】太田市 7,540、前橋市 10,640、高崎市 10,460、桐生市 4,030、伊勢崎市 7,530、館林市 1,960、みどり市 1,610、邑楽町(おうらまち)890	
	未	計 27万人 骨子⇒	【栃木県】約 4 万人 【埼玉県】約 4 万人 【千葉県】約 4.4 万人 http://bit.ly/2Jtcj3Z	
常陸太田市	17-9 17-10	18-3 5.1万	大子町 3,952、【福島県 20 市町村】白河市 12,427、鏡石町 1,345、天栄村 901、下郷町 881、会津坂下町 2,090、湯川村 740、会津美里町 5,140、西郷村 1,849、泉崎村 1,772、中島村 891、矢吹町 3,255、棚倉町 1,884、矢祭町 526、埴町 1,559、鮫川村 895、石川町 5,353、玉川村 2,581、平田町 1,955、浅川町 754、古殿町 741 http://bit.ly/2IGd9ci	避難先市町村別の人数は説明会資料 http://bit.ly/2vnLul1 にはあるが、避難計画書には記されていないのはなぜ？
笠間市	17-3	18-3 36,310	【栃木県 5 市町】小山市 15,922、下野市 6,476、真岡市 7,754、上三川町 3,054、壬生町 3,104 http://www.city.kasama.lg.jp/data/doc/1516595938_doc_16_0.pdf	策定後に住民説明会。「説明会をやるとまとまるものもまとまらなくなるから」と。
常陸大宮市	17-9	18-3 36,564	【栃木県 7 市町】大田原市 6,074、矢板町 5,295、那須塩原市 9,920、さくら市 4,826、那須烏山市 5,265、那須町 3,011、那珂川町 2,173 http://bit.ly/2JrRPIP	
高萩市	17-12 調整中	28,379	【福島県内】いわき市 23,136 北茨城市 5,243	
大洗町	18-3	17,000	【千葉県 6 市町】銚子市、旭市、匝瑳市、香取市 8,000、多古町、東庄町	「6 月にも避難計画の素案をまとめた」と
銚田市	18-3	14,000	銚田市内 8,200、鹿嶋市 5,800	
城里町	18-3	19,132	【栃木県 5 町】茂木町 3,233*、市貝町 1,199、芳賀町 2,624、益子 5,535*、高根沢町 6,541 *18-3 月議会で運転延長反対意見書可決(県外のみ記)	「2018 年度中策定」との報道あり
ひたちなか市	18-3	14万	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、牛久市、鹿嶋市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、小美玉市、美浦村、阿見町、河内町、利根町	
	未		【千葉県 10 市村】に 1.4 万人	
茨城町	調整中	3.3万	潮来市、神栖市	

※避難先市町村数：県内 30、福島 37、栃木 17↑、千葉 16↑、群馬 8、埼玉 未、県外計 68↑、総数 108↑

避難先市町村の数が完全に決まっていないのは、水戸市のみ。

避難先施設数：??? 仮に 300 人/箇所とすれば、3000 箇所以上